

幸せな社会

笑顔と健康をお届けします!

社協では、高齢世帯等を対象に夕食をお届けする「給食サービス」を実施しており、現在200人を超える利用者様に栄養管理の行き届いた食事をお届けしています。

ご高齢や障がいのため調理が難しい方は、当サービスについて社協までお問い合わせください。

もくじ

- ②③ 令和2年度 事業報告・決算
- ④⑤ **特集** コロナ禍だからこそ大切にしたい
地域の“つながり力”
- ⑥ 「通いの場」立ち上げ支援します!
- ⑦ 寄付報告 / 福祉センターからのお知らせ
- ⑧ ボランティア掲示板



社協の給食サービスを利用している
富永さんご夫妻。

「味付けも良く、いつも残さず食べています。おかげで持病も良くなりました」と話されてました。



QRコードを読み取って
社協ホームページへ

発行

社会福祉法人 **江別市社会福祉協議会**

江別市錦町14番地87 江別市総合社会福祉センター内

☎ 011-385-1234 Fax 011-385-1236

ホームページ <http://www.ebetsu-shyakyo.jp>

メール Social-Welfare@ebetsu-shyakyo.jp

社協だより「幸せな社会」は、1月・4月・7月・10月に発行しています。

2021

7 月

No. 202

令和2年度 事業報告・決算

社協では、平成27年度に策定した第3期地域福祉実践計画(平成27～令和元年度)の5カ年の進捗状況の成果、課題を検証し、培ってきた地域福祉の基盤を継承・発展させ、さらに

ストップアップした具体的な活動方針・行動計画である第4期地域福祉実践計画(令和2～6年度)を策定しました。

令和2年度は、計画の1年目として、「暮らしの安心を支える地域福祉」の実現を目指し、自治会・福祉団体などと協議し、身近な地域での生活支援やボランティア活動など様々な福祉課題に対応する事業活動に取り組んでまいりました。なかでも、新型コロナウイルスの感染拡大による経済不況によって、生活困窮世帯を緊急的に支援する必要性から、市民への緊急小口資金・総合支援資金の特例貸付や行政と連携し、住居確保給付金の申請窓口として相談支援を実施しました。一方、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため様々な会議・事業が中止となりました。

以下、主な令和2年度事業の実施結果を報告します。

〔基本計画1〕

地域福祉に関する情報提供や包括的な相談体制による支援

広報活動による福祉情報の提供

▼社協だより「幸せな社会」の発行／年4回発行。

▼ホームページの運営

生活課題に対応した総合的な相談支援

▼生活困窮者自立支援事業

くらしサポートセンターえべつでは、生活課題に対応した総合的な相談支援を実施。特に、対象者像に合わせた就労支援と役割創出活動の充実に注力。また、家計に関する助言や滞納解消及び債務整理に関する支援、貸し付けの斡旋など相談者自らが計改善に取り組めるよう支援。離職・休業等に伴う収入減少により住宅を失うおそれがある方を対象とした住居確保給付金の相談窓口業務を実施。

【実績】新規相談678件、延べ相談支援数4,066回、プラン作成74件

ひきこもり当事者とその家族が気兼ねなく参加できる居場所「シエスタ」を開催。



▼日常生活自立支援事業

判断能力が不十分な方の福祉サービス利用援助や日常生活費の管理を支援。

【実績】年度末契約23件(2年契約5件、解約6件)

▼成年後見実施機関の運営

及び法人後見業務／江別市成年後見支援センターでは、成年後見制度の相談支援及び広報用パンフレットの作成や地域向け講演会を開催するなど制度普及・利用を促進。地域で後見人等を担える人材育成のため市民後見人養成講座の実施、市民後見人候補者へのフォローアップ研修、市民後見人個人受任者の活動支援を実施。また、社協による法人後見業務を実施。

【実績】新規相談112件、延べ相談支援数728回、年度末法人後見受任15件(2年受任5件、終了1件)、年度末市民後見人個人受任

4件(2年受任3件)、市民後見人フォローアップ研修2回

【地域向け講演会】

【実績】令和2年11月8日(日)、参加者65人、内容「落語で学ぼうー成年後見制度」

落語を通じてエンディングノートの活用や成年後見制度を楽しく学びました。



【市民後見人養成講座】

【実績】令和2年11月17日(火)12月22日(火)(座学6日・地域実習・家庭裁判所見学)、修了者26人

▼貸付金を活用した相談支援／生活困窮・障がい者世帯に対し、使途目的に応じた資金の貸付を実施。

【実績】(生活福祉資金)教育支援資金6件、緊急小口資金843件、総合支援資金685件、(福祉金庫)76件

▼ボランティアによる日常生活上の悩みごとに関する相談支援／相談活動を主とするボランティア3団体の協力を得て電話相談を実施。

【実績】登録ボランティア個人186人、団体61団体、施設・団体への支援相談活動などボランティア派遣延533人

▼生活支援体制整備事業

住民主体で行うサロンなどへの参加を通じ、情報収集及び第2層生活支援コーディネーター(地域包括支援センター)との協働、関係機関とのネットワークづくりを構築。また、通いの場情報誌・訪問だより・社協広報誌などを通じ活動の周知に注力。

【実績】関係機関との情報交換情報提供活動105回、地域活動への参加37回

市内のサロン・健康づくり・趣味活動・地域食堂などを掲載する「通いの場」情報誌を作成



〔基本計画2〕

ボランティア活動で進める福祉の環境づくり

ボランティアセンターの運営

▼ボランティア活動の相談・登録、活動先紹介

【実績】登録ボランティア個人186人、団体61団体、施設・団体への支援相談活動などボランティア派遣延533人

社協の相談支援事業

- 生活安定のための貸付金を活用した相談支援(地域福祉係 ☎385-1234)
- 経済的困窮・失業・引きこもりなど生活上の悩みを抱えている方の相談支援(くらしサポートセンターえべつ ☎375-8987)
- 成年後見制度利用の相談や申立手続支援など(江別市成年後見支援センター ☎375-8988)

〔基本計画 3〕
市民参加で進める地域での生活支援や交流活動の促進

愛のふれあい交流事業の実施

▼愛のふれあい活動／ボランティアグループを編成し、ひとり暮らし高齢者などへ安否確認などの助け合い活動に取り組み自治会を支援。

〔実績〕 実施72自治会

▼地域交流の集い活動／地域の高齢者などの閉じこもりを予防し、身近な住民による交流を促進するための活動に取り組み自治会を支援。

〔実績〕 実施39自治会、実施事業98事業

企業・団体の地域貢献活動への支援

▼活動備品の貸出／企業・自治会・団体などが行う地域行事へ活動備品(テント・机・椅子)の貸出。

〔実績〕 活動備品を延8の自治会・施設 団体へ貸出

▼企業・団体の社会貢献活動への協力／マスク寄贈、児童施設へ光触媒コーティング施工、福祉施設への清涼飲料水寄贈、緊急支援用食糧寄贈。

〔基本計画 4〕
体験学習、研修による福祉意識の醸成

福祉の心を育む・知識を深める

▼ワークキャンプ／高校生を対象に夏・冬休み期間にオンライン講座「おうちで学ぶ認知症」を実施。

〔実績〕 参加者(夏)7人・(冬)2人

学校の福祉学習活動への協力

▼総合的な学習の時間に協力／体験用具貸出やボランティア派遣など協力。

〔実績〕 ボランティア派遣1校、高齢者疑似体験セット・車椅子貸出3校

上江別小学校3年生を対象に車いす体験学習を実施



〔基本計画 5〕
自立した生活を支援する福祉サービスの提供

雪処理への支援

▼福祉除雪サービス／高齢者世帯などへ公道除雪後に残る

置き雪を専用車で除雪。

〔実績〕 利用847世帯

▼除雪派遣サービス／高齢者世帯などの生活通路を作業員が除雪。

〔実績〕 利用140世帯

▼えべつ雪の処理情報誌の発行／市内の除雪・排雪などを行う事業所を冊子にまとめ、雪処理情報を提供。

高齢者・障がい者の在宅生活を支援

▼給食サービス／食事の支度が困難な高齢者世帯などへ夕食を宅配。配達時に安否を確認。

〔実績〕 利用247世帯

▼障がい児者移動支援事業

身体・知的障がい児者の外出・余暇活動などの介助のためにガイドヘルパーを派遣。

〔実績〕 利用延518件

▼福祉機器の貸与／疾病・障がいのある方などへ福祉機器を貸与。

〔実績〕 車椅子959件(延月数)、介護用ベッド504件(延月数)、歩行器169件(延月数)

農村地域児童の子育て支援

▼北光保育園・野幌季節保育所の運営

〔基本計画 6〕
地域に信頼される社協運営のための組織づくり

地域福祉実践計画の進行

管理／合同部会で計画の進行状況を管理・評価。

▼福祉センターの管理運営

高齢者が集う交流の場として運営。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止対応として、感染状況に応じた貸室等の利用制限の実施、利用者へ感染予防の注意喚起と「新型コロナウイルス感染拡大防止エックリスト」の提出を求める。

決算

社協理事会・評議員会が開催され、令和2年度の収支決算が承認されましたのでお知らせします。

令和2年度サービス区分別資金収支計算書

(単位:円)

サービス区分	予算額	収入決算 (A)	支出決算 (B)	収支差引 (A)-(B)
法人運営事業	91,596,000	91,937,036	90,514,412	1,422,624
社会福祉基金運営事業	11,807,000	11,743,825	6,527,825	5,216,000
調査・研究事業	446,000	444,728	444,728	0
広報事業	5,809,000	5,821,662	5,821,662	0
顕彰事業	114,000	113,296	113,296	0
江別ふれあい福祉の広場事業	4,000	3,360	3,360	0
ボランティアセンター事業	4,635,000	2,883,095	2,883,095	0
住民福祉推進事業	242,000	240,837	240,837	0
愛のふれあい交流事業	3,635,000	3,061,171	3,061,171	0
給食サービス事業	44,338,000	43,873,916	43,873,916	0
福祉除雪サービス事業	35,959,000	35,958,166	35,958,166	0
除雪派遣サービス事業	3,645,000	3,348,609	3,348,609	0
福祉機器貸与事業	464,000	472,600	472,600	0
生活困窮者自立支援事業	712,000	611,008	611,008	0
生活支援体制整備事業	3,921,000	3,921,000	3,921,000	0
移動支援事業	3,553,000	3,162,390	3,162,390	0
成年後見支援事業	11,858,000	11,857,800	11,857,800	0
福祉サービス利用援助事業	848,000	847,500	847,500	0
共同募金配分金事業	5,134,000	4,866,422	4,866,422	0
生活福祉資金貸付事業	10,964,000	10,255,299	4,831,919	5,423,380
福祉金庫貸付事業	6,006,000	6,046,483	2,841,602	3,204,881
総合社会福祉センター運営事業	25,164,000	25,155,034	25,155,034	0
北光保育園運営事業	22,240,000	22,227,385	22,227,385	0
野幌季節保育所運営事業	6,614,000	6,553,887	6,553,887	0
内部取引相殺額	△7,059,000	△5,255,603	△5,255,603	0
合計	292,649,000	290,150,906	274,884,021	15,266,885

〔掲載事業所募集〕 社協では、雪の処理(除排雪、屋根の雪下ろしなど)を実施している事業所情報を掲載する「えべつ雪の処理情報誌」を発行し、市民に情報提供しています。掲載内容は、事業所名、連絡先、業務内容、費用、請負条件など。令和3年10月発行の2021-22年版への掲載を希望される事業所は、社協(☎385-1234)までご連絡ください。

特集

コロナ禍だからこそ大切にしたい地域の“つながり力”

今号の特集ではコロナ禍での「つながりづくり」を意識した活動を取り上げました。

新型コロナウイルスの感染拡大により、様々な交流活動が休止となり、外出自粛の日々を過ごす中でも地域でつながりつづけるために、さまざまなアイデアで活動している人たちの取り組みを紹介します。



民生委員・児童委員がおしゃべりの場を立ち上げ

お茶のみ処「若葉」

二人も輪に入って一緒に地域の身近な話題などのお話をすることもあります。

コロナ禍での感染症対策のため、入室の際に体温測定と手指消毒、マスクをして透明パーテーションを利用しながらの交流となりますが、みなさんとても楽しみにしていて、運動がてらに歩いて来られる方が多いそうです。

お茶のみ処「若葉」は、上江別老人憩の家で毎月2回活動しています。民生委員の三上始さんと主任児童委員の大原永利子さんは、地域のご年配の方々から、「集まっておしゃべりする場所がほしい」との声を受けて、昨年9月にお二人が代表となって喫茶店のように気軽に来れる地域の交流拠点を立ち上げました。

決まったプログラムは特になく、お茶を飲みながらおしゃべりを楽しみ、代表のお

お茶菓子はすべて個包装のものを購入、ビニール手袋をつけて一人分ずつ紙皿に取り分けています。ドアノブやトイレの水洗レバーなどの消毒も行います。現在は午前中だけの活動となっていますが、新型コロナウイルス感染症が収束したら午後までの時間延長や昼食提供についても検討しているとのこと。それまでは、状況によって活動をお休みする判断をすることもありますが、「気兼ねなくおしゃべりができる場を提供し続けたい」と温かい思いを話されていました。



コロナ禍の不安に寄り添う傾聴ボランティア

桜間 秀夫さん・高橋 富美子さん

傾聴ボランティアとして、

長年活躍している桜間秀夫さん(写真右)と高橋富美子さん(写真左)は、これまで個人の自宅や施設へ月に数回訪問し、1時間程度活動していました。現在のコロナ禍では、月1回30分程度に縮小し、マスク・フェイスシールドを着用し、手指消毒を行う等、感染防止策を徹底したうえで活動を続けています。

お二人にコロナ禍での活動について伺うと、「普段の生活から三密を避けるのはもちろん、感染対策に神経を

とがらせています。会話が必要不可欠なボランティアですが、マスクを着用しているため表情が伝わりにくいので、心の距離が損なわれないよう身振り、手振りや声のトーンを工夫しています。私たちの訪問を楽しみにしていただけたら嬉しいし、心が通じ合うように活動していきたいと思っています。(高橋さん)、「相手の方の気持ちにどこまでも寄り添う覚悟をもって取り組んでいます。笑顔で楽しく、かつ人生語りを聴くよう日々努めています。(桜間さん)」とコロナ禍の不安な気持ちがあっても軽くなるよう努めて活動されています。

最後に桜間さんは、「江別市でも高齢化率が年々上昇しており、地域住民で地域住民を支えることが重要です。傾聴ボランティアを江別市民の皆さんにもっと知っていただき、地域を支える力の一つにしていきたい」と話されていました。

対応の工夫とボランティアの力でコロナ禍を乗り越える 子ども・地域食堂 ななかま堂



間の短縮や食事は持ち帰りとする等、対応を変更しながら開催しています。また、遊び終わった後には消毒も欠かせず、多くの学生ボランティアや近隣ボランティアの力を借りて行っています。

子ども・地域食堂ななかま堂は、子どもや地域の方が気軽に集まり、顔を合わせて食事ができる場所を目指し、毎月1回、あすかの森認定こども園にて日曜日・祝日に開催しています。これまでは、午前中は自由に遊び、12時頃からみんなで昼食をとり、13時すぎから絵本の時間、帰りの会となるスケジュールで開催していました。

現在は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けながらも中止はせずに継続していきたいと考え、遊び時



ななかま堂を運営しているあすかの森認定こども園・松本園長は、「ななかま堂が地域に広く知られることは大変嬉しいことですが、参加人数が増えるにつれてその日の食材の量を見ながらヒヤヒヤすることが正直あります。市内で歩いて行ける場所に地域食堂が出来れば、人数も分散され、車の有無に関わらず参加できるため、今抱えている問題がクリアできると思っています」と地域で子どもの居場所づくり活動の広がり期待する話もさ

若者と向き合い、つながり続ける NPO法人 みなと計画



NPO法人 みなと計画

取組みは他にも

が難しくなり、最近ではインターネットを活用して若者のヒアリングに力を入れてきました。その結果、「人と会えない不安、学外での活動制限、アーティスト作品発表の機会喪失など、若者の受ける影響も多種多様であることがわかってきた」と代表の橋本正彦さんは話します。しかし、メディアには経済的な影響など分かり易い部分しか報道されず、多くの若者が直面する言葉にし難い影響にどうすれば目を向けてもらえるのか日々悩んでいるそうです。

NPO法人みなと計画は、若者が未来に希望を持ってない社会に持続性はないと考え、「全ての若者が未来に希望を持てる世界」の実現を目指しています。その実現のため、無意識に自分の可能性を諦めてしまうことがないように、こども食堂やフォーラムなど若者が主体的にイベントを開催するためのサポートをしています。

しかし、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、これまでのように若者と直接ディスカッションを深めていくこと

新型コロナウイルス感染症が終息しても若者にとって失われた1年、2年があることは事実であり、この期間が今後の人生に影響してくることは間違いのないと思われれます。社会がどうフォローしていくのか課題は大きいですが、「江別の若者の挑戦を積極的に応援して、後押ししていきたい」と話されています。

今回取り上げた4つの取組みのほかにも、地域ではさまざまな取組みやつながり続ける工夫がみられます。これは、これまで地域で培ってきた福祉活動の成果がコロナ禍においても発揮されていることを物語っており、改めて地域福祉の役割に大きな期待が寄せられていることがわかります。

社協では平時から「通いの場情報誌」や「通いの場訪問だより」の発行などを通して地域の通いの場情報を発信しています。社協ホームページなどで閲覧できますので、つながりを感じあえる通いの場探しに役立てていただきたいと思います。

社協SC (生活支援コーディネーター) 『通いの場』訪問だより

カーリングで広がる交流の輪 鉄輪CC同好会

5



問合せ
生活支援体制整備事業担当
☎ 385-1234

「通いの場」 立ち上げ支援します！

社協の生活支援体制整備事業では、「通いの場」の立ち上げや活動継続に関わる支援を行っており、その一環として、今年3月に冊子「通いの場」立ち上げガイドを作成しました。

通いの場は、住民の皆さんが身近な場所に集まり、様々な活動を通して楽しみながら健康維持や支え合いの輪の広がりを目指す取り組みです。江別市内でも、運動や懇談、趣味の継続等を目的とした様々な通いの場が活動しています。

この冊子では、「通いの場」を新しく始めたいと考えている方に向けて、立ち上げの際に必要な準備や検討事項について、取り掛かりやすいポイントを中心にまとめました。

《掲載内容》

1. 通いの場
 - ～はじめてみようと思ったら～
 - 仲間を集める
 - 内容を決める
- (1) 活動内容
- (2) 場所
- (3) 開催日時・頻度
- (4) 費用・参加料
- (5) 準備するもの
- 参加者を集める
2. 通いの場事例紹介
3. 安心・安全への取り組み
 - 保険について
 - 助成金について
 - 食品衛生について
 - 緊急時の想定
 - 見守りについて
4. 相談先・連絡先

主な掲載内容は、立ち上げた「通いの場」の活動内容や活動拠点、開催日時、経費等準備するものを検討する手順などについて掲載しています。

そのほか、「通いの場」の活動に関する保険のことなど安心・安全への取り組みに関する情報、社協をはじめとする「相談先」連絡先を掲載しています。

また、先行事例として、市内で「通いの場」の活動をしている代表の方々から、日頃の活動内容に加えて、「通いの場」を立ち上げようと思ったきっかけや活動継続の秘訣などについてお話を伺い、ご紹介しています。

この冊子は、社協窓口・市内公共施設に配置しているほか、社協ホームページでも公開しています。ぜひご覧いただき、詳細や個別のご相談については、社協までお問合せください。

いつまでも楽しく暮らしたい思いや、元気を分け合いたい気持ちや、住み慣れた地域の「通いの場」で生かしてみませんか？

●ボランティアによる悩みごとと電話相談●
社協登録ボランティア団体の相談員が悩みごとをお聞きます。

なやみゼロ
【相談無料】 ☎ 389-7830

相談日	相談時間	相談名・内容	担当団体名
毎週 火曜日	10時～15時	悩みごととテレホン相談 ▶ 家庭生活の諸問題に関する相談	江別家庭生活カウンセラーグループ
第2・第4 水曜日	10時～14時30分	にこにこ相談室 ▶ 家庭生活の諸問題に関する相談	江別市家庭問題研究会
毎週 木曜日	10時～15時	認知症の悩みごと相談 ▶ 認知症の悩みごとに関する相談	江別認知症の人の家族を支える会
第1・第3・第5 金曜日	10時～14時30分	悩みごととテレホン相談 ▶ 家庭生活の諸問題に関する相談	江別市家庭問題研究会

江別の皆様とともに
地域の発展に貢献します

EPA 江別印刷業協同組合

〒069-0801 江別市中央町29番地の33 (有)アスカ印刷 内
TEL・FAX (011) 389-6730

組合員	(有)アスカ印刷	(有)ア・ノ研究社
笹岡印刷(株)	(株)のっぽろ印刷	(有)トラスティプリント
藤塗装工業(株)	(有)山田印章印刷	(有)くらしの新聞社 賛助会員

JR野幌駅前 TEL 382-3483

(医) 英生会 野幌病院

野幌病院 地域医療相談室	TEL 381-2643
介護老人保健施設 老健のっぽろ	TEL 381-1133
老健のっぽろ通所リハビリテーション	TEL 381-1177
在宅介護相談えべつ 英生会ケアプランセンター	TEL 381-8858
訪問看護ステーション のっぽろ 訪問看護科	TEL 381-7877
訪問リハビリテーション科	TEL 381-1193
英生会グループホーム ゆめみの	TEL 391-3119
小規模多機能ホーム ゆめみの	TEL 391-3229
江別第二地域包括支援センター(江別市委託事業)	TEL 389-5420

クールビズ 省エネルギー対策の一環として、社協職員は夏季に軽装で業務に従事しています。期間は6月1日(火)から9月30日(木)まで。ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

善意のご寄付
ありがとうございました

令和3年3月1日〜令和3年5月31日(敬称略・順不同)

一般寄付金

▼趣旨に賛同して

錦町喜楽会 5,000円、江別市社会福祉協議会職員福利厚生会 124,959円、歌謡サークルきずな 15,000円、江別友の会 20,000円、江別あすか福祉会 9,957円

▼チャリティ・イベントの益金・売上など

大麻木版画同好会 10,000円

社協会長

おじやました

3月〜5月 江別市家庭問題研究会総会、江別身体障害者福祉協会定期総会、江別市民生委員児童委員連絡協議会総会、江別市高齢者クラブ連合会総会



福祉センターからの
お知らせ

開館日時

① 月曜日 9時〜17時

② 火〜日曜日 9時〜21時

※月曜日が祝日の日は、休館します。火〜日曜日は、祝日も開館しています。

7〜9月 休館日

8月9日(月)、9月20日(月)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、右記でお知らせした日以外も休館する場合があります。休館情報はホームページでお知らせします。

社協に電動ベッド寄贈

江別ロータリークラブ



介護用電動ベッドの寄贈ありがとうございました。写真:社協・佐藤功会長(左)、江別ロータリークラブ・西岡学会長(中央)、兼子弘詔社会奉仕委員長(右)

ひきこもり当事者・親の会
居場所「シエスタ」開催

NPO法人レター・ポスト・フレンド相談ネットワークが主催するひきこもり当事者・親の会居場所「シエスタ」を共同開催します。

ひきこもり経験のあるピア・スタッフから体験談を聞くことができました。フリータイムで寄り添えあえる安心できるような居場所となっております。

日時 7月28日(水)、8月25日(水)、9月22日(水)、10月27日(水)、11月24日(水)

時間はいずれも14時〜16時
会場 福祉センター大広間
(ZOOMを使用し、オンライン同時開催)

問合せ くらしサポートセンター
1〜えへつ ☎375・8987

江別ふれあい福祉の
広場の中止について

新型コロナウイルス感染症の拡大により、本年度の「江別ふれあい福祉の広場」の開催を中止することにいたしました。

来年度以降の皆様のご来場をお待ちしています。

損害保険・生命保険代理業



地域に密着した保険専門店
保険サービス・ジャパンエージェンシー

保険の無料相談実施中

【営業時間】平日9:00〜18:00
定休日 土曜日・日曜日・祝日

商号:有限会社イー・エス・オフィス

〒069-0824 江別市東野幌本町19番地の1

☎0120-74-0433

お墓 新規建立・リフォーム・お墓じまい

見えない文字のペンキ塗り替え・花立ての交換・目地修理・追加文字彫刻・お墓のお掃除

★「安心石材店の会」加盟店・15年の安心施工保証
江別市営墓地工事実績1700基・墓石ローン取扱

TEL (011) 383-1232

(有) 上光石材工業

本社・展示場 江別市牧場町1-21 工場 江別市工業町21-33



医療法人 友愛会 友愛記念病院

内科・心療内科・精神科・リハビリテーション科・歯科

(療養・認知専門) 江別市新栄台46番地1

TEL(011)-383-4124 <http://www.yuainen.or.jp/>

訪問看護ステーション ゆうあい

お気軽にご相談ください。TEL(011)-380-5678

紙・事務用品・オフィス家具
OA機器・学校教材

(有) ガク

江別市高砂町10番地(市役所横)

電話代382-2553・FAX385-7878

税の優遇 個人や法人の社協への寄付金及び共同募金寄付金等は、法令などで定める要件に該当した場合、法人税・所得税・個人住民税の優遇(軽減)措置があります。

社協会費 社協会費納入者は、年度分をまとめて7月号で掲載します。

ボランティア掲示板

生活支援体制整備事業

江別市内の「通いの場」情報！地域の活動を紹介します



スマイル体操クラブ

スマイル体操クラブは、今年4月、市内の整体院院長の山谷啓介さんが立ち上げました。鍼灸師・作業療法士であり、リハビリの専門職としても活動されている山谷さんの指導のもと、筋膜を使った姿勢を整えるストレッチや体操を行います。身体の使い方に注目したアドバイスを受けることや、気になる事を相談し個別の体操メニューを教わることができます。

会場では換気や消毒、しっかり距離をとって三密を回避する等感染症対策を徹底。コロナ禍で、心身の活力が低下する“フレイル”が懸念されるなか、山谷さんは「健康維持のために定期的に外出する機会を提供し、自粛生活でなまった身体や心を一緒に良い状態にしていきたい」と話してくださいました。毎月体力測定も実施するとのこと、継続すると効果を実感できそうです。ぜひ参加して、細やかな指導を受けてみませんか？

見学・体験も随時受付中です。
コロナが終わるまで、マスクをして、少人数で乗り切りましょう！



講師の
やまや けいすけ
山谷啓介さん



開催日 / 月・金曜日 10時30分～12時00分
場所 / 月曜日…大麻集会所(大麻中町26番地4)
金曜日…新栄会館(錦町18-1)
参加費 / 1回500円(希望者はスポーツ保険加入)
お問合せ / 代表・山谷 ☎ 090-5077-3286

江別市ボランティア団体連絡会

ボランティア会員団体を紹介します



語り・ひとり芝居ぐるーぷ うるうる亭

「語り・ひとり芝居ぐるーぷ うるうる亭」とは大変長い名前です、またよく食べ物屋さん間違われます。本当は、宮澤賢治の童話に「山はいまできあがったばかりのようにうるうると盛り上がっていました」とあるところから由来する名前です。各所でおはなし会をひらいたり、イベントに参加したりして語りや朗読を披露しています。

近年は友好都市土佐市との文化交流から「えべつ俄(にわか)」を創作し、土佐市はもちろん、北見、紋別、夕張、札幌、月形、岩見沢などにも出かけています。2017年には江別観光特使にも任命されました。

コロナ禍にあつて、例年10数か所あった公演が昨年は3か所しかありませんでした。今年は新作「しゃけくんと魔法のこどりの巻」でコロナ収束を願います。

無料体験、入会を随時受け付けていますので、興味のある方は気軽にお問い合わせください。(会費 / 月3,000円)
問合せ / 北本 ☎ 382-4710

心地よい夏の風が通り過ぎる季節、畑の苗もすくすく育つ中、暦の上ではあつという間に夏至も過ぎました。私たちは「コロナ」という目に見えない恐怖に脅かされながら感染予防対策に取り組んでまいりました。

新生活様式「おうち時間」を有効に活用する一方で「高齢者、弱い立場の方、子育て世代の方」の抱えるストレスは計り知れない日々を送ってこられたことと思います。

切迫した状況の中で携わる方々のご苦労によって、本格化するワクチン接種に明るい兆しが見えつつあります。

終息が来ることを望み、コロナ禍の経験を生かして、今できることに挑戦し活動を続ける団体、支援事業の全てではございませんが紹介させていただきます。

改めて、感謝し一日一日を大切に過ごしてまいりたいと存じました。取材にご協力いただきました皆様ありがとうございます。



編集後記



赤い羽根共同募金は、社協だよりも役立てられています

広報編集委員会委員
工藤 多希子